

平成26年度 第1回教育協働会議

会議資料

- 資料1 平成25年度教育振興協約の評価 …………… (P1~4)
- 資料2 平成26年 鳥取県の子どもたちの未来のための教育に
関する協約(教育振興協約) …………… (P5~8)
- 資料3 平成26年 教育振興協約 関連事業 …………… (P9)
- 資料4 平成25年度鳥取県体力・運動能力調査結果について…(P10~14)
- 資料5 土曜授業等の取組状況 …………… (P15~16)
- 資料6 スポーツ振興・競技力向上に向けた新たな体制について …(P17)
- 資料7 教育委員会制度改革イメージ …………… (P18)

平成25年度 教育振興協約の評価

【協約に掲げた施策の概評】

- ・各振興施策ごとに積極的に取組を進め、取組み指標の達成状況は、概ね順調。
- ・目に見える成果が出はじめているものがある一方で、成果が見えにくいものもある。
- ・いずれにしても、成果の定着を確認するためには、継続的に経過を見ていく必要がある。
- ・昨年度に引き続き、スポーツ・文化分野の大会での鳥取県の子どもたちの活躍が著しい。
- ・平成25年9月実施の関係者への協約に関するアンケートでは各政策項目で、「大変効果がある」及び「ある程度の効果がある」との意見が7割以上を占めた。

政策項目 (平成25年度 教育振興協約)	取組の状況等	総括評価
1 幼稚園・保育所から高等学校までを通した教育の充実と、家庭、地域と連携した学習環境の整備により、子どもたちの「学びの質」の向上に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○平成25年4月24日に行われた全国学力・学習状況調査結果において、小学校、中学校とも全ての教科において、平均正答率が全国平均を上回った。全国よりも上位層の子どもが多く、下位層の子どもが少なかった。 ○同調査から、従来、鳥取県の課題としてきた家庭での学習時間や予習・復習の状況等について、改善傾向が見られる。 ○全ての県立高等学校で、授業改革に向けた取組を始めた。 ○県PTA協議会との連携により、10PTAで、メディアとの関わり方、食事、あいさつなど自校の課題の改善に向けて取組を実施した。 	実現に向け少しずつ進んでおり、成果が出はじめています。
2 近年の子どもたちの不登校の状況を踏まえ、未然防止・早期対応・登校支援の各段階に応じた対策に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○平成25年度から組織である「いじめ・不登校総合対策センター」を設置するとともに、対策会議である「同対策本部」を設置し、関係各課が持つ、ノウハウや情報をつなぎながら、現状分析を行い、必要な対策を打っていく体制をとった。 ○全中学校にスクールカウンセラー、またスクールソーシャルワーカーの増員配置を行い、教育相談体制の強化を図った。 ○学校だけでは解決が困難な事例に対し、社会福祉、医療等の専門家が助言・支援を行うなど、体制が整いつつある。 ○平成24年度数値において、前年度出現率が増加した小学校では前年並み、前年度減少傾向に転じた中学校ではさらに若干の低減傾向、高等学校では増加傾向が見られる。(平成25年度数値は、平成26年8月に公表予定) 	実現に向け取組は進めているが、まだ、成果が出ていない。
3 学校が子どもたちにとってより安心して通学できる場となるよう、総合的ないじめ対策に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○心理検査hyper-QUの活用などが県全体に広がっており、未然防止や早期発見を視点とした校内研修会などが充実してきている。 ○いじめ防止対策推進法の施行を受け、県の基本方針及びガイドブックを作成した。 ○新任管理職研修で、やむを得ない事情により、危機管理をテーマとする講座を受講できない者があった。次年度に受講できるように、継続して勧奨する。 ○聞き取り調査を行った結果、各学校でいじめに対する感度が上がっていたり自主的に取り組んだりする様子が見える。 	実現に向け少しずつ進んでおり、成果が出はじめています。
4 特別な支援を必要とする子どもたちへの教育の充実に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学校に、iPad等のICT機器を整備するとともに、教職員に対する機器活用のための研修を実施し、子どもたちの意欲や能力の発揮の支援の環境を整えた。 ○皆生養護学校高等部に病弱教育部門を設置し、特別支援教育の充実を図った。 ○個別の教育支援計画の作成、活用にかかる保護者向けリーフレットを小中高の教職員全員に配付し、学校現場での理解を図るとともに、説明会、広報等により、県民の理解促進に努めた。 ○関係機関との連携等により、就労促進セミナー参加企業数は、増加しており、障がい者雇用に対する理解が進んでいる。(23年度:52社、24年度:110社、25年度:114社) 	実現に向け少しずつ進んでおり、成果が出はじめています。
5 子どもたちの創造力や体力を養い、健やかな心身を育てるため、文化・芸術活動やスポーツの振興に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校に体力向上推進計画書の策定を求め、学校での計画的な体力向上に向けた取組の実践を進めている。 ○2町及び県立特別支援学校2校において、地域と連携した体力向上のモデルとなる取組を進めている。 ○小学校体育専科教員3名の配置により、教員の指導力向上及び、子どもたちの体力向上や運動意欲の向上につながっている。 ○体力・運動能力調査の結果から、ボール投げは前年を下回っているが、小学校5年生では50m走で前年を上回る結果となっていることから、取組の成果が少しずつ出ていると考えられる。 ○全国高等学校総合体育大会では、優勝の5種目を含めて、入賞数はここ20年間で最も多い28種目となった。 ○全国高等学校総合文化祭において、弁論部門での最優秀賞を始め、のべ7つの部門で受賞した。 	実現に向け少しずつ進んでおり、成果が出はじめています。

平成25年度 教育振興協約の評価

資料-1

「H25年度 鳥取県の子どもたちの未来のための教育に関する協約」に位置づけられた取組指標

取組の柱	取組の指標	指標の内容	H25 目標数値	協約締結時の数値			参考数値 (全国数値 等)	H25.3以降 の直近デー タが前年度 のもの	評価	
				鳥取県(H23)	全国(H24)	鳥取県(H24)			H25数値	達成率
学びの質の 向上	授業改革を推進する県立 高等学校数	高等学校学力向上推進委 員会の提言及び平成24 年度の学力向上推進モデ ル校の成果を踏まえて、 授業改革に取り組む学校 数。	全校 (24校)		11校 (H24)		-		24校	100.0%
	鳥取県学力向上戦略本部 における議論を踏まえ、知 事と教育委員長とが協議の 上、設定した数値目標を上 回る	-	-		-		-		別紙のとおり	
不登校対策	児童生徒の不登校出現率	児童生徒100人当り の不登校者数比率。 ※不登校者数：年間30 日以上欠席した者のう ち、病気や経済的な理由 による者を除いた者	全国平均及び 前年度本県 出現率を下回る		鳥取県(H23)	全国(H24)	鳥取県(H24)	※平成25年度数値 は、 平成26年8月公表 予定		
				小学校	0.34%	0.31%	0.37%			
				中学校	2.87%	2.56%	2.31%			
	高等学校	1.83%	1.93%	2.10%						
いじめ対策	公立学校管理職が、新任 年度に危機管理に関する 研修を受講する率	管理職(校長・副校長・ 教頭)を対象とした、危 機管理研修(訓練)の受講 率。	100%		94% (H24)		-		98.9%	98.9%
	いじめや不登校に関する アンケート結果を学校の 中心となって活用できる 教員の養成	心理検査(hyper-QU)の 結果を分析、活用するた めの研修の受講教員数。 (目標値は、各県立学校 1名以上)	32名		0名 (H24)		-		45名 各県立学校1 名以上が受講	140.6%
特別支援教育 の充実	中学校から高等学校への 個別的教育支援計画(*) の引継率	特別な支援を要する生徒 について、生徒の指導、 支援の充実のために必要 となる学校や関係機関、 保護者が連携して個別の 教育支援計画(*)を作成 し、且つ高校進学時に学 校間での情報の円滑な引 継を行った率。 (*)特別な支援を必要と する子どもに一貫した支 援を行うために作成する もの	50%				-		71.8%	143.6%
	特別支援学校高等部の就 職希望者の一般企業への 就職率	就職先の確保が特に困難 な特別支援学校卒業生の うち、就職を希望する者 に対する就職した者の 率。 特別支援学校の生徒は、 障がい等により就職を希 望しない生徒もいること から、本数値を使用。 ※目標は就労継続支援A 型を除く。	80%以上		77.8% (H23)		-	66.1% ※就労継続 支援A型を 除く	80.4% ※就労継 続支援A 型を除く	100.5%
文化・芸術活 動やスポーツ の振興	近畿高等学校総合文化祭 への参加部門率	近畿高等学校総合文化祭 における、開催部門に対 する鳥取県が参加した部 門の割合。	100% [15部門/15部 門]		100% [15部門/15部門] (H24)		-		87.5	87.5%
	文化・芸術、スポーツ等 の分野で、全国で活躍す る児童・生徒数(全国3 位以上)	文化・スポーツ等の分野 で全国規模の大会・コン クール等において、3位 相当以上の賞を受賞した 個人又は団体として、教 育長表彰を行った件数	60件		57件 (H24)		-		64件	106.7%
	児童生徒の体力調査結果	50m走及びボール投げ (小学5年生、中学2年 生)の体力調査の平均記 録	親世代 (S53~57) の平均値に 近づける		現在の児童生徒 (H24)		親世代			
				50m走	小5男子	9.44秒	9.05秒		9.41秒	96.2%
					小5女子	9.70秒	9.26秒		9.62秒	96.3%
					中2男子	7.91秒	7.86秒		7.97秒	98.6%
					中2女子	8.79秒	8.65秒		8.80秒	98.3%
				ボール投げ	小5男子	24.09m	31.0m		23.80m	76.8%
					小5女子	14.19m	17.6m		14.10m	80.1%
					中2男子	20.92m	22.3m		20.49m	91.9%
					中2女子	13.00m	14.5m		12.76m	88.0%

学力向上戦略本部で決定した学びの質の向上に関する指標

1 データの出典

- 小学校・中学校: 全国学力・学習状況調査等による。
- 高等学校: 高等学校教育改革に関するアンケート、各校実施アンケート等による。
- H23年: 全国学力・学習状況調査・高等学校教育改革に関するアンケートは実施されていない。

2 指標

【学力調査】

		H21年度	H22年度	H24年度	H25年度
◆上位層の増加、下位層の減少(小中)	小6	62.5%	87.5%	75.0%	100.0%
	中3	87.5%	50.0%	75.0%	100.0%
◆過去の調査と同一問題の正答率の増加(小中)	小6				72.7%
	中3				85.7%
◆無解答率の減少(特に「活用」に関する問題)(小中)	小6				87.5%
	中3				70.0%
◆各校が設定した指標の達成(高)	高	H25年新規実施		整理中	

【学び方の質・学習状況】

◆意欲、授業に向かう姿勢

	対象	H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H25年 全国
「身に付けた知識・技能や経験を生活の中で活用できないか考える」 児童生徒の増加(小中) ※算数・数学	小6	61.4%	63.9%	63.8%	65.1%	66.2%
	中3	29.4%	31.4%	33.8%	35.9%	37.7%
「授業の中で『わかった』、学んだことについて『もっと知りたい』と感じる」 児童生徒の増加(小中)	小	少人数学級を活かす学びと指導 の創造事業アンケート項目			84.4%	
	中				78.3%	
「学校の授業は、内容がわかりやすく、勉強することの充実感を感じる」生徒の増加(高)	高2	実施なし	47.6%	50.2%	69.4%	
「調査結果を授業改善に活用している」学校の増加(小中)	小学校	97.2%	96.6%	61.4%	96.1%	92.1%
	中学校	90.8%	100.0%	42.9%	90.5%	88.7%
「児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする発問や指導をする」 学校の増加(小中)、教員の増加(高)	小学校	94.3%	92.0%	98.1%	95.3%	95.0%
	中学校	92.3%	97.1%	92.0%	92.0%	91.8%
	高校教員	実施なし	77.0%	80.5%	89.6%	

◆体験活動・読書活動の実施状況

	対象	H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H25年 全国
「授業で体験的な学習を取り入れている」学校の増加(小中)	小	少人数学級を活かす学びと指導 の創造事業アンケート項目			92.6%	
	中				77.5%	
「全校一斉読書に取り組む」学校の増加(小中高)	小学校	100.0%	100.0%	98.1%	100.0%	98.2%
	中学校	95.4%	97.1%	100.0%	95.3%	92.7%
	高等学校	45.8%	87.5%	87.5%	91.6%	
「読書が好きである」児童生徒の増加(小中高)	小6	74.9%	74.2%	75.1%	74.7%	72.1%
	中3	73.2%	73.5%	74.3%	73.0%	70.1%
	高2	H25年新規項目			68.2%	

◆ 家庭における学習等の状況

対象	H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H25年 全国	
「家で、自分で計画を立てて勉強している」児童生徒の増加(小中高)	小6	55.1%	57.4%	57.2%	61.8%	58.9%
	中3	36.9%	41.3%	43.8%	46.2%	44.5%
	高2	実施なし	29.0%	36.0%	39.4%	
「進んで取り組んでいることを褒めている」保護者の増加(小中)	小	少人数学級を活かす学びと指導の創造事業アンケート項目			84.6%	
	中				76.9%	
「生徒に対する国語・算数(数学)の指導として、保護者に対して家庭学習を促すような働きかけを行う」学校の増加(小中)	小学校	97.6%	92.1%	96.6%	98.5%	95.6%
	中学校	63.1%	46.1%	62.5%	62.0%	72.4%

【豊かに生きる、共に生きる力】

◆ 自分自身や他者、社会等との関わりに関する意識

対象	H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H25年 全国	
「ボランティア活動に参加している」児童生徒の増加(小中高)	小6	H25年新規項目			44.5%	37.5%
	中3				52.8%	44.6%
	高2				23.0%	
「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」児童生徒の増加(小中高)	小6	73.1%	71.6%	項目なし	76.3%	75.0%
	中3	57.7%	60.1%		65.9%	66.8%
	高2	実施なし	30.4%		40.4%	53.9%

◆ 進路に向けた意識

「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の増加(小中高)	小6	84.7%	85.9%	84.8%	85.3%	87.7%
	中3	69.1%	68.9%	71.7%	70.9%	73.5%
	高2	H25年新規項目			77.1%	
「[あの人のようになりたい]と思う人がいる」児童生徒の増加(小中)	小6	H25年新規項目			77.5%	75.6%
	中3				71.3%	69.0%
「自分の進路を実現するために、目標に向かって努力している」生徒の増加(高)	高2	実施なし	46.8%	55.8%	67.2%	

◆ 地域社会への参画状況

「地域の行事に参加している」児童生徒の増加(小中高)	小6	76.1%	76.1%	77.9%	79.1%	63.9%
	中3	43.7%	43.9%	44.6%	48.7%	41.6%
	高2	実施なし	23.7%	30.5%	30.8%	
「地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)から褒められたことがある」児童生徒の増加(小中)	小6	H25年新規項目			64.8%	70.8%
	中3				52.7%	54.8%

鳥取県の子どものための未来のための教育に関する協約

鳥取県知事と鳥取県教育委員会は、互いに協力して、子どもたちが豊かな未来を切り拓いていくことができるよう、市町村や保護者、県民の皆さんと一緒に、子どもたちの未来のための教育振興施策（以下「施策」という。）に取り組んでいきます。

1 子どもたちの未来のための教育振興施策

私たちは、鳥取県教育振興基本計画に基づき施策を推進します。平成26年度においては、特に以下の内容に重点的に取り組む事として、着実な成果を目指します。

全国に誇れる学力を目指す「学びの質の向上」

- (1) グローバル化に対応した教育環境づくりや、2020年の新学習指導要領の全面実施に対応するため、英語科教員の指導力を向上するとともに、イングリッシュチャールームの拡大などにより、子どもたちの外国に対する興味関心と英語力を高めます。
- (2) 鳥取県幼児教育振興プログラムに基づく「幼保小連携カリキュラム」を活用した取組を全県に広げ、幼稚園・保育園・認定こども園等における教職員の指導力向上や小学校教育との連携による小学校との円滑な接続等、幼児教育の充実に取り組みます。
- (3) 校種や地域を超えた鳥取発スクラム教育を全県で展開します。
 - ・小学校から中学校までの9年間を通じた、学力向上につながる授業改革を推進します。
 - ・中学校から高等学校の学習内容の定着と、応用力を伸ばす教科指導の体制づくりに取り組みます。
 - ・エキスパート教員を活用し、中学校区等での学校の枠を超えた指導や教員が互いに学びあう風土をつくるための中核教員の養成など、教員の指導力の向上に取り組みます。
- (4) 東部、中部、西部の県立学校において、土曜授業を含む土曜日を活用した教育活動に取り組むとともに、過半数の市町村でも幅広く取り組まれるよう、コーディネーターの配置等による支援を行うなど、全県的に取組を推進します。また、学校法人における取組を支援します。
- (5) 子どもたちの自由な発想による自主的な企画の活動や、既存の枠を超えた創意あふれる活動に対する支援、様々なコンテストへの参加の動機付けなど、学習意欲や夢の実現に向けた意欲を高めるための仕掛けづくりに取り組みます。
- (6) ICT教育の推進のため「ICT活用教育推進協議会」を設置し、ICTを活用した授業の設計や、協調学習の充実等による21世紀型スキル獲得のための教員のICT活用指導力の向上等に取り組みます。
- (7) 市町村と協力しながら、PTAや地域での保護者の交流を促進し、家庭教育に関する情報提供や相談対応、学習機会のコーディネートなど、地域の実情に応じた家庭教育支援体制の強化に取り組みます。

安心して通学できる学校づくり「いじめ・不登校対策」

- (8) いじめ防止対策推進法に基づき、学校、教育委員会、知事部局、その他いじめ問題に関係する機関・団体の連携を図る「鳥取県いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、総合的ないじめ防止対策に取り組みます。
- (9) いじめの未然防止につなげるための全県を対象としたフォーラムにおいて、児童生徒によるいじめ防止活動の発表や、ポスター等の展示など、参加型による主体的ないじめ防止の取組を充実します。
- (10) 不登校や特別な支援を必要とする子どもたちへの効果的な支援に向けて、公立学校、私立学校及び関係機関等が、それぞれ持つノウハウを共有し、教職員の対応力の向上等に取り組むとともに、不登校児童生徒を指導する一定の水準を満たす学校外の民間施設を、出席扱いとできる施設として指定する仕組みをつくります。

(11) 学校だけでは解決が困難な、不登校への対応やいじめの解決に向けて、スクールソーシャルワーカーとして必要な知識、技能を持った人材の育成、確保に取り組みます。

(12) インターネット端末の急速な普及の中で、児童・生徒の健全な成長が損なわれることのないよう、保護者や地域住民が行う学習会への講師派遣を行うとともに、低年齢の乳幼児期からのメディアとの正しいつきあい方についても教育啓発を行います。

一人一人のニーズに対応した「特別支援教育の充実」

(13) 教職員の手話技術の向上や手話教育推進コーディネーターの配置など、教育面における手話に関する環境整備に取り組みます。

(14) 関係機関と連携した障がいの早期発見、早期支援を行う取組を進めるとともに、理学療法士等の配置により特別支援学校の専門性を強化することで、地域の学校への支援体制強化に取り組みます。

(15) 発達障がいのある児（者）の保護者への情報提供及び県民の皆さんへの発達障がいに対する理解・啓発を行い、本人と保護者が地域で安心して暮らせる体制づくりを推進します。

健やかな体と心と夢を育てる「スポーツ・文化芸術活動の振興」

(16) 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、トップアスリートと子どもたちが触れ合う機会の創出やジュニア層の選手強化、国内外トップチームのキャンプ招致などに取り組みます。

(17) 障がい者芸術文化祭への参加支援などによる障がいのある子どもたちの文化活動の活性化と、文化芸術活動を通じた健常者と障がいのある人との交流の機会の拡大に取り組みます。

2 施策の着実な推進

私たちは、随時協議を行いながら施策の進行状況や効果を把握し、着実な推進に努めます。

3 課題への迅速な対応

私たちは、協議の過程で新たな課題が生じた場合は、迅速に対応していきます。

4 県民や現場の声の反映

私たちは、教育に対する県民の願いや想い、現場の声を大切にして施策に反映させます。

5 県民の皆さんの期待と信頼に応える教育現場の実現

私たちは、教育現場でのコンプライアンスの確立、体罰の防止に向けて、責任感と誇りを持った教職員の育成に努めます。

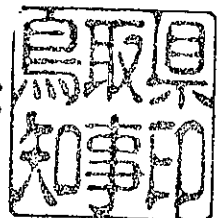
6 平成27年度の施策への展開

私たちは、実施した事業の検証を行いながら、平成27年度以降のよりよい施策につなげていきます。

平成26年3月26日

鳥 取 県 知 事

平井伸治



鳥取県教育委員会委員長

中島諒人



平成26年度協約 指標一覧

<p>全国に誇れる学力を目指す「学びの質の向上」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査において全国を上回るとともに、学力向上指標において前年度を上回る <p style="text-align: right;">※学力向上指標の詳細は別紙のとおり</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・イングリッシュチャワールームの数 6箇所
<ul style="list-style-type: none"> ・学校を超えて活動するエキスパート教員数 5名
<ul style="list-style-type: none"> ・スクラム教育で中学校との連携の核となる県立高等学校数 6校
<ul style="list-style-type: none"> ・土曜授業等に取り組む県立高等学校 東部、中部、西部の 4校
<ul style="list-style-type: none"> ・土曜授業等に取り組む市町村数（予算的な支援） 10市町村
<ul style="list-style-type: none"> ・教員のICT活用指導力調査で、児童・生徒のICT活用を指導する能力が、全国平均を上回る

<p>安心して通学できる学校づくり「いじめ・不登校対策」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の出現率が全国平均を下回るとともに低減する
<ul style="list-style-type: none"> ・全ての学校で学校いじめ防止基本方針を策定する

<p>一人一人のニーズに対応した「特別支援教育の充実」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校から高等学校への個別の教育支援計画の引継率が、前年度を上回る
<ul style="list-style-type: none"> ・教育センターが開催する全ての基本研修において手話の普及に取り組む

<p>健やかな体と心と夢を育てる「スポーツ・文化芸術活動の振興」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県体力・運動能力調査結果の総合判定(A～Eの5段階)が、A又はBの割合が次の数値を上回る (小5男)50.0% (小5女)55.0% (中2男)50.0% (中2女)65.0%
<ul style="list-style-type: none"> ・国民体育大会での入賞(8位以内)が、種目数で50種目、人数で120人を上回る
<ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸術、スポーツ等の分野で、全国で活躍する児童・生徒数(全国3位以上)が60人を上回る

[学力向上指標]

学力調査の状況	
(1)	全国学力・学習状況調査の実施教科において、最上位層の割合が全国の割合を上回り、最下位層の割合が全国の割合を下回る
(2)	全国学力・学習状況調査で、過去の問題と同一趣旨の問題のうち、正答率が全国平均を上回った割合
(3)	全国学力・学習状況調査で、記述式の問題のうち無解答率が全国平均以下であった割合
(4)	各校が設定した指標について、各校が達成したと評価する割合
学び方の質・学習状況	
(5)	意欲、授業に向かう姿勢 <ul style="list-style-type: none"> ・「身に付けた知識・技能や経験を生活の中で活用できないか考える」児童生徒の増加（算数・数学） ・「授業の中で『わかった』、学んだことについて『もっと知りたい』と感じる」児童生徒の増加 ・「学校の授業は、内容がわかりやすく、勉強することの充実感を感じる」生徒の増加 ・「児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする発問や指導をする」学校、教員の増加
(6)	体験活動・読書活動の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・「授業で体験的な学習を取り入れている」学校の増加 ・「全校一斉読書に取り組む」学校の増加 ・「読書が好きである」児童生徒の増加
(7)	家庭における学習等の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・「家で、自分で計画を立てて勉強している」児童生徒の増加 ・「進んで取り組んでいることをほめている」保護者の増加 ・「児童生徒に対する国語・算数（数学）の指導として、保護者に対して家庭学習を促すような働きかけを行う」学校の増加
豊かに生きる共に生きる力の状況	
(8)	自分自身や他者、社会等との関わりに関する意識 <ul style="list-style-type: none"> ・「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」児童生徒の増加 ・「ボランティア活動に参加している」児童生徒の増加
(9)	進路に向けた意識 <ul style="list-style-type: none"> ・「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の増加 ・「『あの人のようになりたい』と思う人がいる」児童生徒の増加 ・「自分の進路を実現するために、目標に向かって努力している」生徒の増加
(10)	地域社会への参画状況 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の行事に参加している」児童生徒の増加 ・「地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）から褒められたことがある」児童生徒の増加

全国に誇れる学力を目指す「学びの質の向上」	関連事業
(1) グローバル化に対応した教育環境づくりや、2020年の新学習指導要領の全面実施に対応するため、英語科教員の指導力を向上するとともに、イングリッシュチャールームの拡大などにより、子どもたちの外国に対する興味関心と英語力を高めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育強化事業 ・イングリッシュチャールーム設置事業 ・英語教育推進事業 ・とっとりイングリッシュクラブ
(2) 鳥取県幼児教育振興プログラムに基づく「幼保小連携カリキュラム」を活用した取組を全県に広げ、幼稚園・保育園・認定こども園等における教職員の指導力向上や小学校教育との連携による小学校との円滑な接続等、幼児教育の充実に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育充実活性化事業
(3) 校種や地域を超えた鳥取発スクラム教育を全県で展開します。 ・小学校から中学校までの9年間を通じた、学力向上につながる授業改革を推進します。 ・中学校から高等学校の学習内容の定着と、応用力を伸ばす教科指導の体制づくりに取り組みます。 ・エキスパート教員を活用し、中学校区等での学校の枠を超えた指導や教員が互いに学びあう風土をつくるための中核教員の養成など、教員の指導力の向上に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携で取り組む授業改革ステップアップ事業 ・教科・領域指導力向上セミナー ・新時代を拓く学びの創造プロジェクト ・未来を拓く学力形成事業 ・エキスパート教員ステップアップ事業
(4) 東部、中部、西部の県立学校において、土曜授業を含む土曜日を活用した教育活動に取り組むとともに、過半数の市町村でも幅広く取り組まれるようコーディネーターの配置等による支援を行うなど、全県的に取組を推進します。また、学校法人における取組を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校土曜授業等実施支援事業 ・県立高校土曜授業等実施事業 ・私立学校教育振興補助金(知事部局)
(5) 子どもたちの自由な発想による自主的な企画の活動や、既存の枠を超えた創意あふれる活動に対する支援、様々なコンテストへの参加の動機付けなど、学習意欲や夢の実現に向けた意欲を高めるための仕掛けづくりに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・とっとり夢プロジェクト事業 ・外部人材活用事業 ・本の大好きな子どもを育てるプロジェクト ・未来に役立つ「ものづくり教育」実践事業 ・楽しむ科学まなび事業(知事部局) ・地域を担う人材育成事業 ・平成26年度「科学の甲子園ジュニア」鳥取県大会 ・鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業 ・チャレンジする市町村を応援する教育交付金
(6) ICT教育の推進のため「ICT活用教育推進協議会」を設置し、ICTを活用した授業の設計や、協調学習の充実等による21世紀型スキル獲得のための教員のICT活用指導力の向上等に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・21世紀型スキルの取得のためのICT環境の構築 ・ICTを活用した学びの支援事業 ・ICTを活用した学習環境の研究
(7) 市町村と協力しながら、PTAや地域での保護者の交流を促進し、家庭教育に関する情報提供や相談対応、学習機会のコーディネートなど、地域の実情に応じた家庭教育支援体制の強化に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業 ・とっとりふれあい家庭教育応援事業
安心して通学できる学校づくりいじめ・不登校対策	
(8) いじめ防止対策推進法に基づき、学校、教育委員会、知事部局、その他いじめ問題に関係する機関・団体の連携を図る「鳥取県いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、総合的ないじめ防止対策に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止対策推進事業
(9) いじめの未然防止につなげるための全県を対象としたフォーラムにおいて、児童生徒によるいじめ防止活動の発表や、ポスター等の展示など、参加型による主体的ないじめ防止の取組を充実します。	<ul style="list-style-type: none"> ・明日へつなぐ心のキャンペーン事業2014
(10) 不登校や特別な支援を必要とする子どもたちへの効果的な支援に向けて、公立学校、私立学校及び関係機関等が、それぞれ持つノウハウを共有し、教職員の対応力の向上等に取り組むとともに、不登校児童生徒を指導する一定の水準を満たす学校外の民間施設を、出席扱いとできる施設として指定する仕組みをつくります。	<ul style="list-style-type: none"> ・フリースクール連携推進事業
(11) 学校だけでは解決が困難な、不登校への対応やいじめの解決に向けて、スクールソーシャルワーカーとして必要な知識、技能を持った人材の育成、確保に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策事業 ・高等学校等における不登校(傾向)生徒等支援事業 ・スクールソーシャルワーカー活用事業
(12) インターネット端末の急速な普及の中で、児童・生徒の健全な成長が損なわれることのないよう、保護者や地域住民が行う学習会への講師派遣を行うとともに、低年齢の乳幼児期からのメディアとの正しいつきあい方についても教育啓発を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケータイ・インターネット教育啓発推進事業
一人一人のニーズに対応した「特別支援教育の充実」	
(13) 教職員の手話技術の向上や手話教育推進コーディネーターの配置など、教育面における手話に関する環境整備に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・手話で学ぶ教育環境整備事業
(14) 関係機関と連携した障がいの早期発見、早期支援を行う取組を進めるとともに、理学療法士等の配置により特別支援学校の専門性を強化することで、地域の学校への支援体制強化に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい児者家族生き生き安心プロジェクト(知事部局) ・発達障がい情報発信強化事業(知事部局) ・発達障がい児童生徒等支援事業
(15) 発達障がいのある児(者)の保護者への情報提供及び県民の皆さんへの発達障がいに対する理解・啓発を行い、本人と保護者が地域で安心して暮らせる体制づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい児童生徒等支援事業
健やかな体と心と夢を育てる「スポーツ・文化芸術活動の振興」	
(16) 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、トップアスリートと子どもたちが触れ合う 機会の創出やジュニア層の選手強化、国内外トップチームのキャンプ招致などに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・2020東京オリンピック・パラリンピック代表選手育成プロジェクト(知事部局) ・集まれ！トップアスリート合宿誘致プロジェクト事業(知事部局)
(17) 障がい者芸術文化祭への参加支援などによる障がいのある子どもたちの文化活動の活性化と、文化芸術活動を通じた健康者と障がいのある人との交流の機会の拡大に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・共生社会をめざす文化・芸術活動支援事業 ・文化芸術活動支援事業

平成26年5月20日
体 育 保 健 課

調査結果の概要

[別紙1より]

- ・テストの合計点は、昨年より全国平均値（平成24年度）を下回る学年が増えた。
- ・また、昨年の県平均値を下回る学年が増えた。

[別紙2より]

- ・「50m走」、「長座体前屈（柔軟性）」「ボール投げ」は、全国平均値を下回る学年が多い。
- ・「シャトルラン（全身持久力）」「反復横跳び（敏しょう性）」は、全国平均値を上回っている。
- ・小、中学生は、全国平均値を下回る種目が多く、高校生は多くの種目で全国平均値を上回っている。

[別紙3より]

- ・運動時間が長い児童・生徒ほど体力が高い傾向にある。
- ・学年が上がるにつれて、運動時間による体力合計点平均値の差が大きくなっている。

1 調査対象及び人数

鳥取県内の全ての公立小学校・公立中学校・県立高等学校（全日制）の全児童生徒を対象（平成24年度までは約10%抽出）

※集計数：55,442名（県内公立学校の児童生徒数 58,465名）

2 調査項目

〈児童生徒の属性に関する項目〉

- ①年齢 ②性別 ③都市階級区分 ④運動部やスポーツクラブへの所属状況
- ⑤運動・スポーツ実施状況 ⑥1日の運動・スポーツの実施時間 ⑦朝食の有無
- ⑧1日の睡眠時間 ⑨1日のテレビ（テレビゲームを含む）の視聴時間
- ⑩1日のパソコン・携帯電話の利用時間

〈テスト項目〉

- ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横跳び
- ⑤20mシャトルラン ⑥50m走 ⑦立ち幅跳び
- ⑧ソフトボール投げ（小学校）、ハンドボール投げ（中学校及び高等学校）

調査項目	体力評価	基礎運動能力評価	健康評価
握力	筋力	—	筋力
上体起こし	筋力・筋持久力	—	筋持久力
長座体前屈	柔軟性	—	柔軟性
反復横跳び	敏しょう性	—	
20mシャトルラン	全身持久力	—	心肺持久力
50m走	スピード	走る	—
立ち幅跳び	筋パワー	跳ぶ	—
ボール投げ	巧ち性・筋パワー	投げる	—

3 調査期間 平成25年5月～7月

別紙 1

1 平成25年度の合計点（鳥取県）と全国平均値（平成24年度）との比較（数値の単純比較）

		小1年 (6歳)	小2年 (7歳)	小3年 (8歳)	小4年 (9歳)	小5年 (10歳)	小6年 (11歳)	中1年 (12歳)	中2年 (13歳)	中3年 (14歳)	高1年 (15歳)	高2年 (16歳)	高3年 (17歳)
男子	全国	30.51	37.71	44.11	49.86	55.89	61.88	34.88	43.86	50.56	51.65	56.02	58.74
	県	30.47	37.56	43.76	49.14	54.69	59.91	33.51	41.88	49.86	52.82	56.95	59.47
女子	全国	30.45	38.42	44.20	50.20	55.48	62.00	43.88	50.58	52.72	50.13	51.92	53.13
	県	30.58	38.16	44.22	49.77	56.24	60.77	44.58	49.09	52.21	52.25	53.55	54.58

2 鳥取県の平成24年度と平成25年度の合計点の比較（数値の単純比較）

(1) 男子

区分	小学校						中学校			高等学校		
	1年(6歳)	2年(7歳)	3年(8歳)	4年(9歳)	5年(10歳)	6年(11歳)	1年(12歳)	2年(13歳)	3年(14歳)	1年(15歳)	2年(16歳)	3年(17歳)
H24	30.54	38.37	44.60	50.62	54.70	61.14	34.10	43.40	50.31	52.18	56.75	59.45
H25	30.47	37.56	43.76	49.14	54.69	59.91	33.51	41.88	49.86	52.82	56.95	59.47

(2) 女子

区分	小学校						中学校			高等学校		
	1年(6歳)	2年(7歳)	3年(8歳)	4年(9歳)	5年(10歳)	6年(11歳)	1年(12歳)	2年(13歳)	3年(14歳)	1年(15歳)	2年(16歳)	3年(17歳)
H24	30.91	37.78	44.91	50.53	55.90	61.86	45.61	50.05	53.04	51.95	54.05	54.59
H25	30.58	38.16	44.22	49.77	56.24	60.77	44.58	49.09	52.21	52.25	53.55	54.58

(1) 男子

		小学校						中学校			高等学校		
		1年(6歳)	2年(7歳)	3年(8歳)	4年(9歳)	5年(10歳)	6年(11歳)	1年(12歳)	2年(13歳)	3年(14歳)	1年(15歳)	2年(16歳)	3年(17歳)
握力	Tスコア	49.56	49.59	50.11	49.94	49.63	48.99	48.24	47.72	48.64	49.41	49.43	49.47
	検定	-2.18	-2.02	0.55	-0.32	-1.87	-5.12	-8.79	-11.41	-6.67	49.41	49.43	49.47
上体起こし	Tスコア	48.79	49.07	50.02	49.78	48.85	48.66	48.34	48.72	50.30	50.29	49.34	48.86
	検定	-5.99	-4.62	0.09	-1.15	-5.77	-6.81	-8.31	-6.42	1.45	1.28	-2.82	-4.89
長座体前屈	Tスコア	49.38	49.05	48.93	48.71	47.51	46.79	47.17	46.99	48.18	50.49	50.84	50.84
	検定	-3.11	-4.70	-5.29	-6.62	-12.45	-16.31	-14.13	-15.09	-8.95	2.15	3.58	3.60
反復横跳び	Tスコア	51.17	51.05	50.87	50.87	49.27	49.32	49.27	48.82	50.38	50.14	50.17	50.39
	検定	5.80	5.20	4.27	4.46	-3.63	-3.44	-3.67	-5.90	1.86	0.60	0.72	1.67
シャトルラン	Tスコア	53.07	52.81	52.07	52.20	52.58	51.81	51.86	50.94	51.08	51.65	50.99	50.83
	検定	15.24	13.91	10.19	11.34	12.93	9.17	9.29	4.72	5.32	7.33	4.21	3.57
50m走	Tスコア	48.53	47.39	47.23	47.75	47.72	47.03	49.48	48.79	50.00	51.09	51.19	51.38
	検定	-7.29	-12.92	-13.65	-11.59	-11.41	-15.09	-2.60	-6.08	0.00	4.84	5.10	5.92
立ち幅跳び	Tスコア	49.78	49.55	49.08	48.66	47.94	49.29	48.93	49.19	49.67	52.34	52.01	52.22
	検定	-1.07	-2.22	-4.52	-6.89	-10.32	-3.59	-5.35	-4.08	-1.63	10.39	8.59	9.50
ボール投げ	Tスコア	49.36	48.82	48.29	48.36	48.80	47.87	47.48	48.14	49.26	49.49	49.57	49.42
	検定	-3.20	-5.82	-8.41	-8.43	-6.00	-10.82	-12.58	-9.33	-3.64	-2.26	-1.84	-2.50

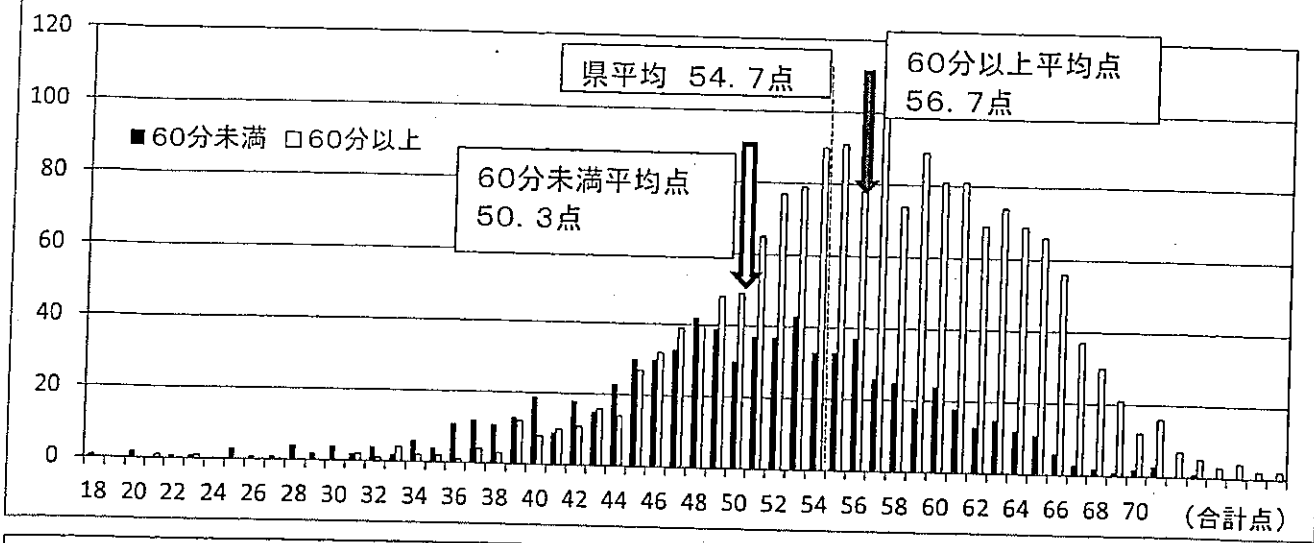
(2) 女子

		小学校						中学校			高等学校		
		1年(6歳)	2年(7歳)	3年(8歳)	4年(9歳)	5年(10歳)	6年(11歳)	1年(12歳)	2年(13歳)	3年(14歳)	1年(15歳)	2年(16歳)	3年(17歳)
握力	Tスコア	49.54	50.41	49.50	48.99	49.72	49.36	48.87	48.45	49.18	49.94	50.17	50.04
	検定	-2.22	2.00	-2.46	-4.96	-1.41	-3.21	-5.62	-7.40	-3.86	-0.28	0.74	0.18
上体起こし	Tスコア	49.56	49.25	49.54	49.94	50.15	48.69	50.43	49.03	50.07	51.03	50.46	49.84
	検定	-2.15	-3.68	-2.31	-0.28	0.75	-6.59	2.13	-4.63	0.33	4.45	1.98	-0.68
長座体前屈	Tスコア	49.12	48.54	48.70	48.08	48.21	47.60	48.57	49.39	49.85	50.52	50.22	50.64
	検定	-4.27	-7.13	-6.45	-9.45	-8.93	-12.10	-7.08	-2.90	-0.71	2.26	0.97	2.78
反復横跳び	Tスコア	51.44	51.96	51.11	50.72	51.92	50.18	50.26	49.25	49.80	50.25	50.20	50.91
	検定	6.98	9.56	5.53	3.55	9.55	0.90	1.30	-3.58	-0.94	1.10	0.87	3.95
シャトルラン	Tスコア	54.27	53.72	53.83	53.37	55.00	53.38	53.81	50.48	55.50	52.20	51.05	50.87
	検定	20.71	18.17	19.01	16.57	24.95	16.99	18.88	2.27	26.00	9.52	4.55	3.77
50m走	Tスコア	48.95	47.74	48.82	46.99	49.47	47.54	50.79	48.96	49.31	52.50	51.70	50.77
	検定	-5.11	-11.04	-5.84	-14.82	-2.62	-12.38	3.91	-4.99	-3.29	10.83	7.39	3.33
立ち幅跳び	Tスコア	49.57	48.14	48.90	48.31	49.69	49.25	50.17	48.20	49.19	52.90	51.90	52.34
	検定	-2.10	-9.06	-5.43	-8.33	-1.56	-3.77	0.84	-8.62	-3.84	12.55	8.26	10.12
ボール投げ	Tスコア	48.76	47.08	47.96	47.85	48.79	47.60	49.60	48.01	48.97	49.14	49.12	48.76
	検定	-6.04	-14.24	-10.11	-10.58	-6.05	-12.07	-1.98	-9.51	-4.87	-3.74	-3.84	-5.36

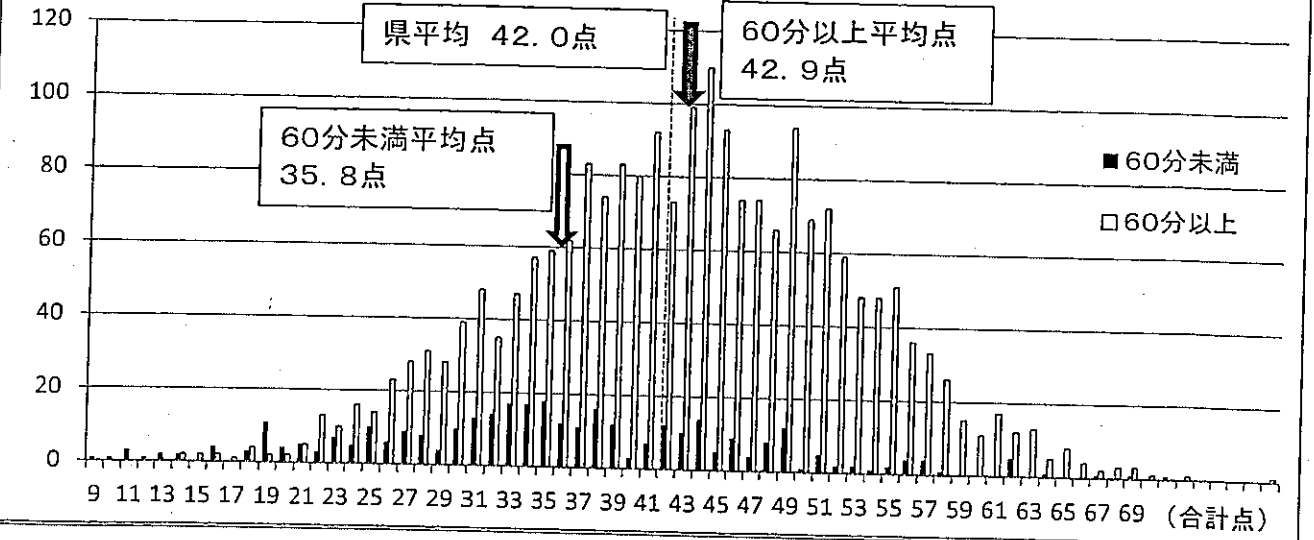
※検定の見方 … 検定の数値の式によって計算した「 Δ 」の値が 1.96 以上ならば、有意水準 5% で有意差があると見る。
また、「-」がついている場合(-1.96 以下)は、全国値より劣っていることを示す。

(例) 「2.34 ○」… 全国値より優れている。「-3.21 ▼」… 全国値より劣っている。「1.22」「-0.89」… 有意差がない

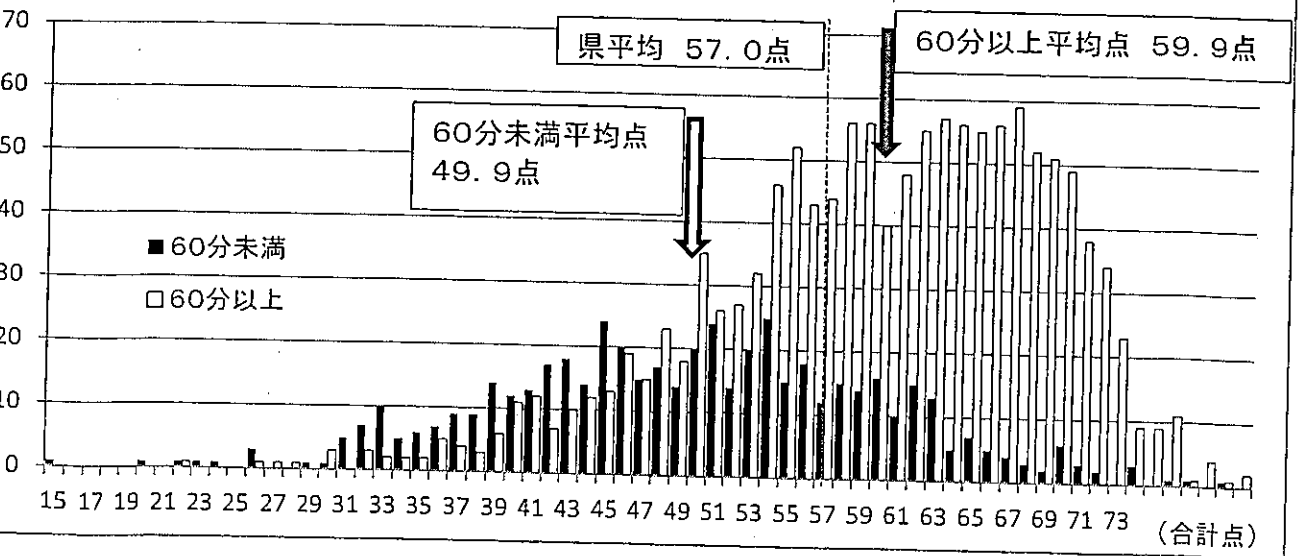
運動実施時間と体力合計点の関係 (小5男子)

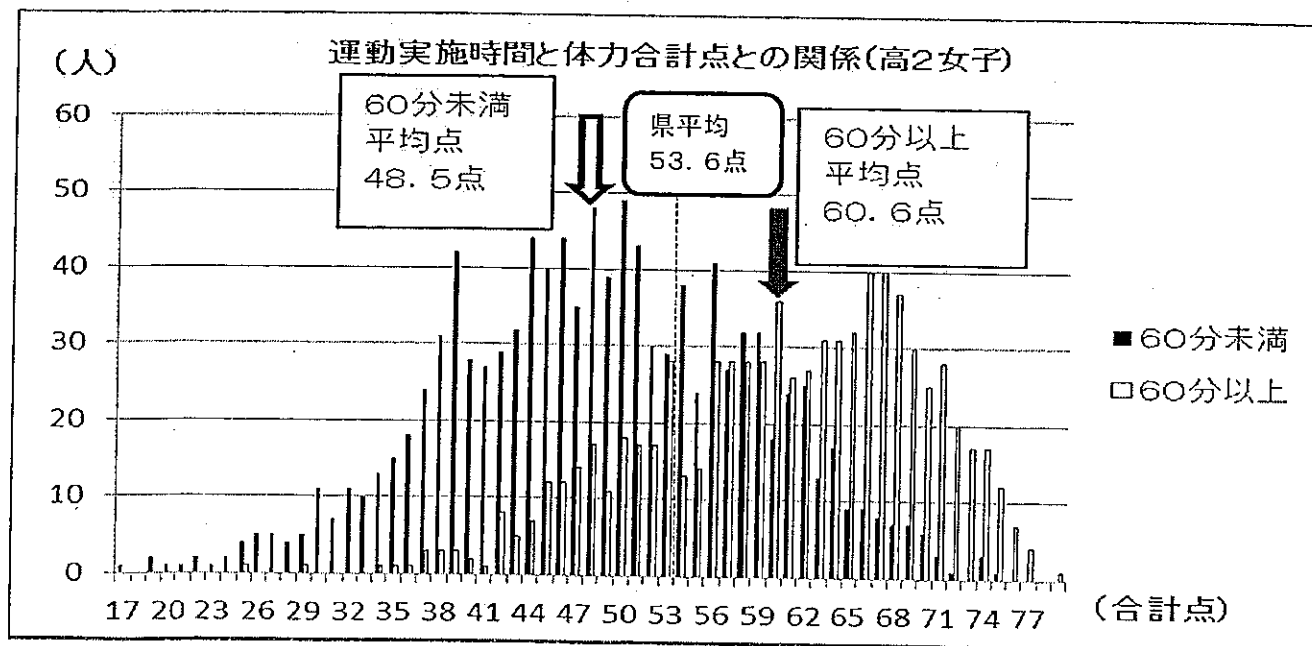
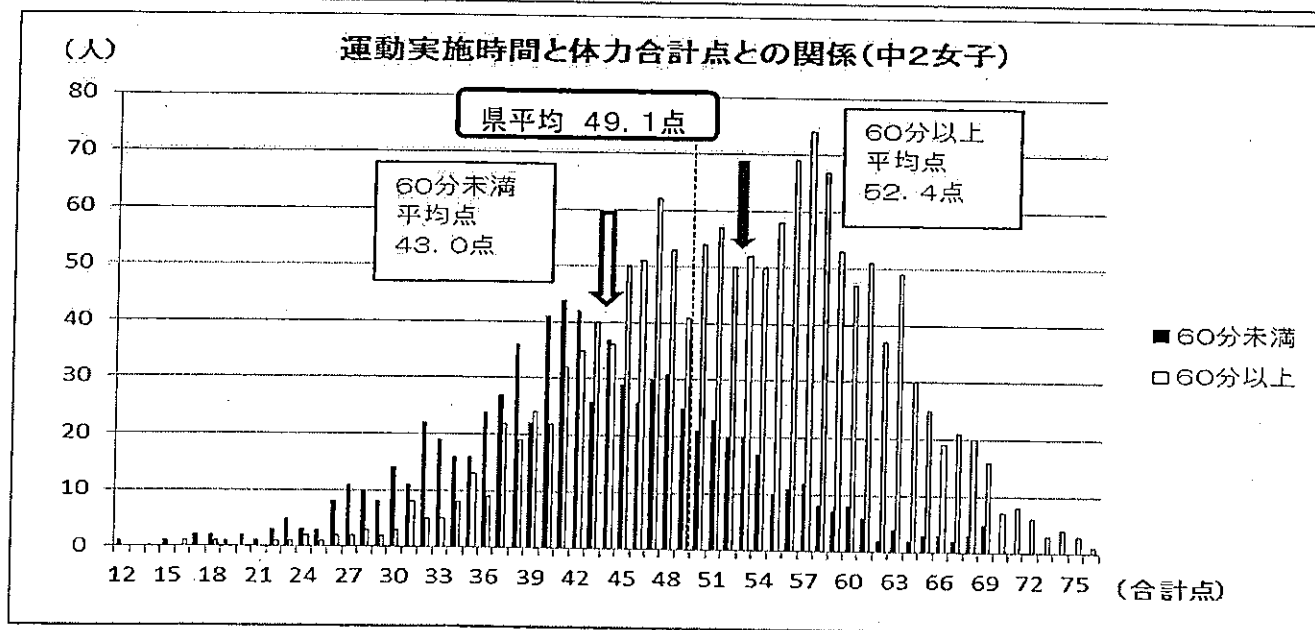
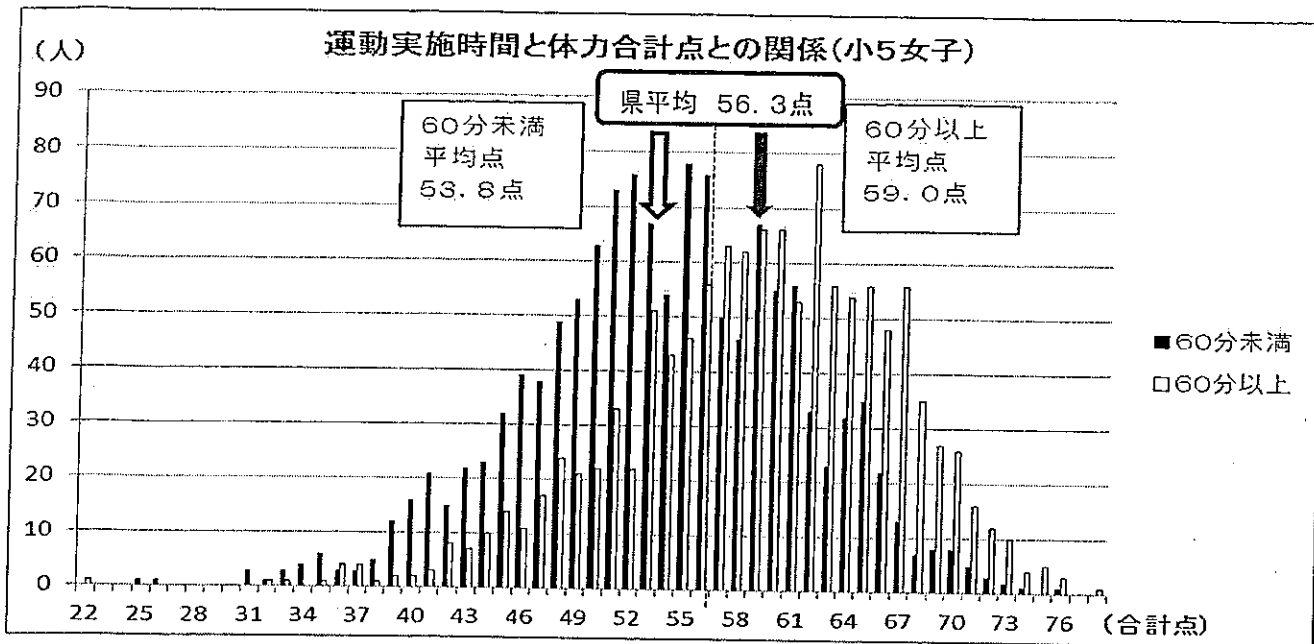


運動実施時間と体力合計点の関係 (中2男子)



運動実施時間と体力合計点の関係 (高2男子)





土曜授業等の取組状況

県立高校における土曜授業等の実施 ～ 高校における土曜日の教育環境充実を目指す ～

区分	対象校	取組の概要
重点校	倉吉東	教育課程内の授業を実施 (月に2回、3時間の授業を全学年の生徒対象)
モデル校	東部: 八頭	生徒が地域に出て行き、地域の産業・文化等を探究する取組 (学期に1回程度、探究コースの希望者対象)
	東部: 智頭農林	商店街における商品販売など地域と連携した取組(学期に数回程度、園芸科学科の希望者対象)
	中部: 倉吉総合産業	退職教員を活用した匠の技の継承や地元企業見学などとおしたキャリア教育の充実(学期に数回程度、機械科の希望者対象)
	西部: 米子西	中高連携による芸術体験学習や大山周辺での野鳥観察などとおして生徒の知的好奇心を向上(学期に1回程度、各学年の希望者を対象)
	西部: 境港総合技術	生徒と地域社会(水産関係団体)をつなげる取組(毎月1回程度、水産学科の希望者を対象)

その他、土曜日の教育活動については、学校裁量予算等を活用して、鳥取商業の「鳥商デパート」、米子東の「科学を創造する人財育成事業」などの取組を実施している。

市町村における取組状況 (追加取組市町の発生に備え補正予算要求中)			
市町村名	内容・方法	H26予定回数	対 象
1. 倉吉市	「土曜授業」(半日) ・地域人材を活用し、教育課程に基づきふるさと学習や進路意識を育成	小学校3回 中学校5回	全学年
2. 湯梨浜町	「土曜授業」(半日) ・教育課程に基づく教師による土曜授業 (内容未定)	小学校3回 中学校3回	全学年
3. 南部町	「土曜開校」(半日) ・総合的な学習や特別活動 ・教科学習 (学力向上等) ・ふるさとに学ぶ学習やキャリア教育 など	小学校9回 中学校9回	全学年
4. 日南町	「土曜開校」(半日) ① 民間業者と連携したチャレンジテスト及び体験学習の実施 ② 外部講師を招聘した学習サポートセミナーの実施	小学校10回 中学校10回	全学年
5. 伯耆町	「土曜授業」(半日) ・各教科や学校行事等に位置づけた教育活動を実施	小学校3回 中学校3回	全学年
	「土曜教室」(実施主体: 公民館) ・公民館で、児童生徒や親子向けの体験学習等を実施	小学校5回程度 中学校5回程度	希望者
6. 鳥取市	小学校4校で保護者主催イベント、PTA主催の体験活動 中学校2校で保護者が中心となった学力補充 公民館主催事業、市教育センター主催English world	年4～10回 程度	希望者
7. 若桜町	漢字検定チャレンジ教室 (実施: 町教委) 漢字検定 (実施: 若桜学園)	年 8回 年 3回	希望者
8. 智頭町	英会話教室、夏季・冬季のオールイングリッシュデイキャンプ (実施: 町教委)	月2回程度	小学生 希望者
	森のようちえん小学生版 (実施: NPO法人智頭町森のようちえんまるたんぼう)	毎週土・日	
	小学生対象講座「杉の子塾」を実施 (実施: 智頭町地区公民館)	月1回程度	
9. 日吉津村	地域力を生かした地域学習や体験学習等	月1回程度	希望者
10. 日野町	陶芸教室、絵手紙教室、絵画教室、紙芝居づくり、木のおもちゃ作り、お話し会、おたすけ自由研究等	1・2学期 3～4回 3学期 1回程度	希望者

土曜授業を実施した市町村の状況等について

【日南町：4/12 中学校(1校)・4/19 小学校(1校)】

○学習内容等（新聞報道等から）

- 日南中学校 1時限目にクラスごとに英語や数学、家庭科の授業や保護者を交えた学級活動を実施。このうち2年1組では、「ひとり暮らしを考える」をテーマに家庭科の授業を行い、タブレット端末を活用しながら敷金・礼金の計算や間取りなどについて学んだ。
2限目は、「インターネットやスマホの適切な利用」についての親子講演会。保護者の参加も70%にのぼった。
- 日南小学校 2時間の学習公開後、新担任との懇親会。その後は体育館で学校からの連絡と職員紹介、そしてPTA総会を行った。

○感想

- (保護者)「家にいるとなかなか勉強しないので、みんなでいた方がいい。土曜日にあるので、参観もしやすくなった」と歓迎。
- (生徒)「土曜日に学校に来るのは不思議な感じがしたが、あまり違和感がなくて楽しかった」と笑顔。

【倉吉市：5/10 中学校(5校)】

◀鴨川中学校の内容>

○学習内容等

- 1・2年生 5/10(土)、「鴨川中学校近辺の自然・文化にふれること」「仲間づくり」をねらいとし、市文化財課職員からも鳥飼家住宅で説明を受けながら『ふるさと発見ウォークラリー』を実施。前日には、倉吉市教育委員会が作成した「くらし風土記」を用いながら地域を考える学習の場として事前学習を行った。
- 3年生 修学旅行のまとめ作業

○感想

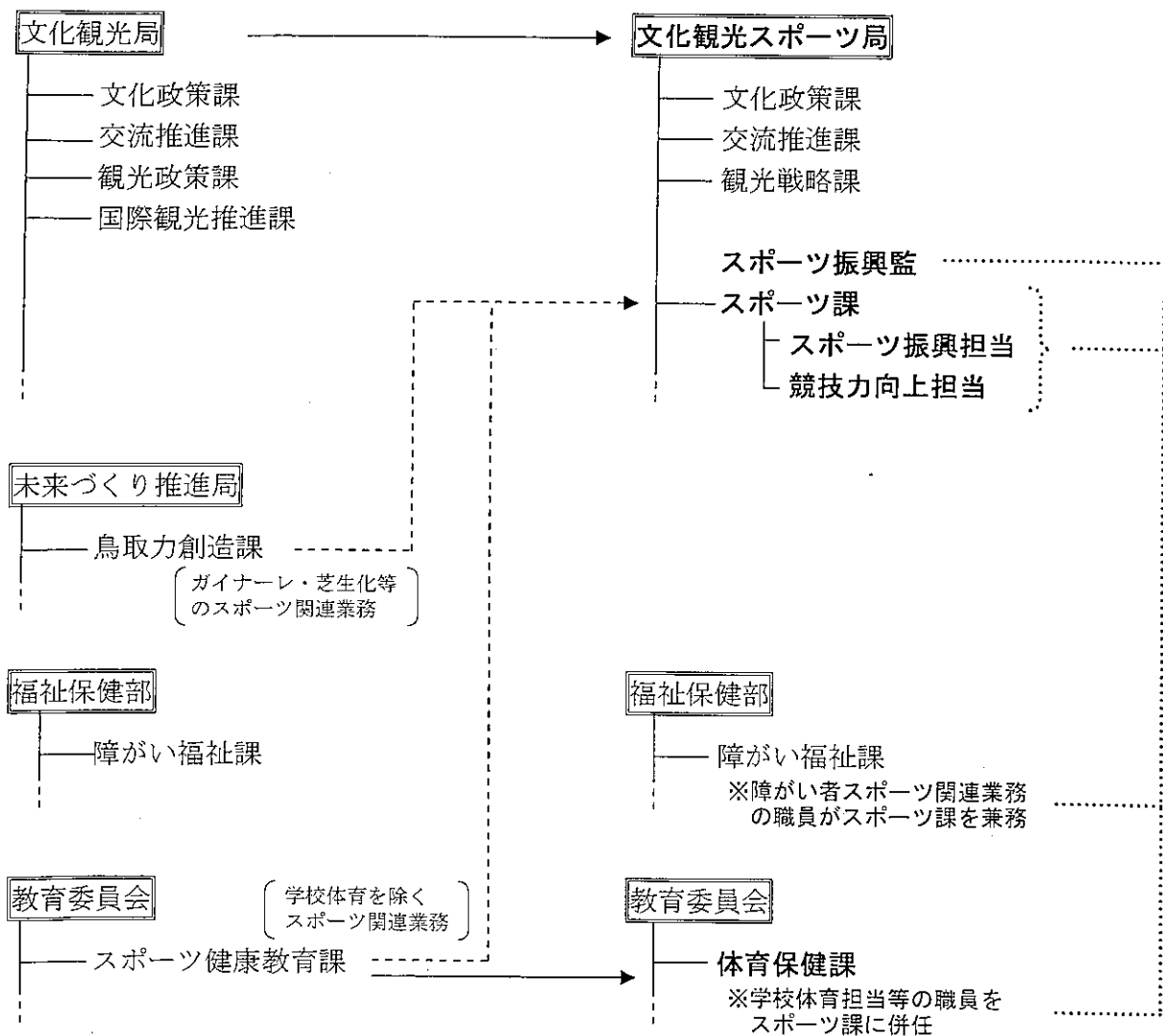
- (教員)・ふるさとウォークラリーを実施し、生徒ともに地域のことを知る良い機会となった。
以前は、遠足が実施されており、このような時間を取りにくい状況であったが、土曜授業で実施できたことが良かった。
- ・土曜日に勤務しなければならないのは大変だが、ウォークラリーの下見として複数の教員で学ぶ機会もあり、地域の文化財に触れることができて良かった
- (生徒)・班のみんなが場所を知っていて教えてくれたり「休憩する？」と声をかけてくれたので、最後まで頑張って歩くことができました。関金に住んでいながら、行ったことのない場所もたくさんあったけれど、班のみんなが教えてくれました。クイズを解きながらその場所のことを知る事ができてとても良かったです。
- ・ウォークラリーでは、関金のいろいろなことについて知ることができました。
- 私は、関金で行っていないところがたくさんあって知らなかったけど、友達が教えてくれてうれしかったです。一番気に入ったところは、亀井公園でした。鳥飼家住宅には、時間切れで行くことができなかったので、また、いつか行きたいです。

スポーツ振興・競技力向上に向けた新たな体制について

○スポーツ振興、競技力向上分野等、スポーツ行政の一部を知事部局に移管し、福祉分野との一体的な取組、スポーツツーリズムの推進やスポーツコンベンションの強化に向けた体制を新たに構築。

⇒ 知事部局と学校体育（教育委員会）との円滑な連携による、競技力向上につながる効果的なスポーツ行政を推進。

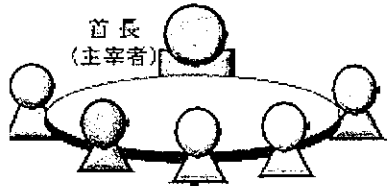
⇒ 文化観光局を「文化観光スポーツ局」とし、同局内に「スポーツ課」を新設。教育委員会から学校体育以外のスポーツ振興、競技力向上分野等を知事部局に移管し体制を強化するとともに、観光部門などと連携した東京オリンピック・パラリンピックなどのキャンプ地誘致活動を展開。



教育委員会制度改革イメージ (衆議院審議中)

鳥取県 教育協働会議

総合教育会議



- ・会議設置を法定
- ・首長、教育委員会で構成(有識者も参加可能)
- ・首長が主宰

鳥取県 民間委員を含んで議論

予算の調製、執行や条例提など首長の権限に係る事項等について協議

- 教育行政の大綱策定
- 重要な教育施策の方向性
- 児童・生徒等の生命又は身体の保護など緊急事態への対処

教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図る。

首長



それぞれ任命・罷免

同意

新教育長については、所信表明など丁寧な手続を検討

議会



教育委員会 (執行機関)

新「教育長」

任期3年



【教育委員会の代表者】

委員



任期4年

方針

教育振興協約

執行

教育委員会の代表者として事務局を指揮監督

教育委員会事務局

公立学校その他の教育機関

知事部局

専門人材の育成

【教育委員会の専権事項】

教科書の採択、学校の教育課程の編成、個別の教職員人事など、特に政治的中立性、継続性・安定性を担保する必要がある事項